



## ハイテク農芸科

### 食と緑のスペシャリストを育てる

果樹専攻／野菜専攻／作物専攻／草花専攻／造園専攻

生きていく上で欠かすことのできない「食」。  
広い農場やハウスなどの充実した施設と  
バイオテクノロジーを駆使し、  
豊かな「食と緑」について総合的に学びます。

自分でいた一粒の種の発芽から収穫、四季を通して生命が躍動する不思議さ、額に汗して、立派に育てた喜び。植物とともに自分も自然に育つ。先生が植物そのもの、それが農場での学習です。そして、育てた植物を活用したマーケティング。農業生産に関する知識や技能の習得は、もちろん、農業の6次産業化などビジネスとしての農業、環境保全型の持続的な農業をめざします。

農業に関することを  
いろいろな角度から  
学びます

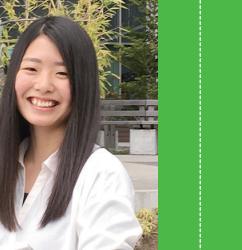
- ▶ 植物バイオテクノロジーなどの先端技術
- ▶ トラクターなどの農業機械実習
- ▶ コンピューター利用による環境制御
- ▶ 野菜、果樹、草花などの栽培・販売実習



### 卒業生からのメッセージ

#### 土に触れ、命と向き合い、進みたい道を発見できる

農作物や動物を自分たちの手で育てていくところに魅力を感じて、農芸高校を選びました。命の大切さを日々学び、成長したときの達成感は他の高校では味わえないものだと思います。高校での研究を通して仲間の考え方を尊重することや思いやりの気持ちを学び、それが大学での活動にも活かされています。また、農業現場での様々な問題についても知ることができたので、将来はその問題を解決して「農業の楽しさ」を伝えられる人材になりたいです。



沖野 知夏

ハイテク農芸（2017年卒）  
大阪府立農芸高等学校  
生物資源学科

#### 社会に出て活動する大事な骨組みになった

農芸高校の最大の魅力は、生徒の考え方や挑戦したことに対する評価があることです。今までの考え方方にどらわれず、突然もない考え方にも先生にアドバイスをもらったり真剣に取り組み、発表する機会も与えられます。僕は人前で話すことは苦手だったので、そのような経験を経ることで次第に慣れることができました。これは社会に出る上で大きな成長です。農芸高校での経験は、確実にみなさんの思い出に強く残る3年間になると思います。



堀口 剛五

ハイテク農芸（2016年卒）  
大阪府立都市整備部  
黒土木事務所

### 卒業生からのメッセージ

#### 目的や目標を意識して取り組めるようになった

農芸高校の最大の魅力は、生徒の考え方や挑戦したことに対する評価があることです。今までの考え方方にどらわれず、突然もない考え方にも先生にアドバイスをもらったり真剣に取り組み、発表する機会も与えられます。僕は人前で話すことは苦手だったので、そのような経験を経ることで次第に慣れることができました。これは社会に出る上で大きな成長です。農芸高校での経験は、確実にみなさんの思い出に強く残る3年間になると思います。



池上 朋美

ハイテク農芸（2013年卒）  
帝京山大学 現代生活学部  
食物栄養学科（2017年卒業）  
大阪府立東吉支援学校栄養教諭

#### 専門知識や技術だけでなく向上心まで身に付いた

中学生の頃から、実践的に学びたいという思いが強く、大好きな「食品」について学べ、また、将来、管理栄養士の資格修得につなげるように、農芸高校の食品加工科の実習を決めました。在学中に資格取得を目指すことを決意しました。在学中に実習を各種発表会に参加したり、やる気次第でいろいろなことにチャレンジできる自ら考えて事に取り組む力や、衛生面に気を配る態度、よりよい商品を作ろうという気持ち今は今の仕事現場でも非常に役に立っています。社会で働く上で大切なことをたくさん学べる学校です。

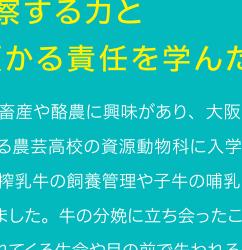


井ヶ谷 ともみ

食品加工科（2013年卒業）  
大阪府立農芸高等学校  
生物資源学科

#### 観察・考察する力と生命を預かる責任を学んだ

中学時代から畜産や酪農に興味があり、大阪で唯一牛を飼っている農芸高校の資源動物科に入学しました。在学中は搾乳牛の飼養管理や牛子の哺乳・育成に携わってきました。牛の分娩立ち会ったこともあります。高校で学んだ製葉の理論や基本技術はもちろん、実習授業で教わった自己考えて事に取り組む力や、衛生面に気を配る態度、よりよい商品を作ろうという気持ち今は今の仕事現場でも非常に役に立っています。社会で働く上で大切なことをたくさん学べる学校です。

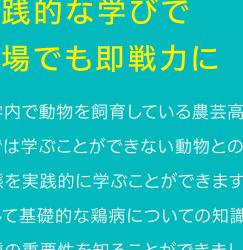


大畠 美結

資源動物科（2017年卒業）  
大阪府立農芸高等学校  
畜産学科

#### 実践的な学びで職場でも即戦力に

中学生から実践的に学びたいという思いが強く、大好きな「食品」について学べ、また、将来、管理栄養士の資格修得につなげるように、農芸高校の食品加工科の実習を決めました。在学中に資格取得を目指すことを決意しました。在学中に実習を各種発表会に参加したり、やる気次第でいろいろなことにチャレンジできる自ら考えて事に取り組む力や、衛生面に気を配る態度、よりよい商品を作ろうという気持ち今は今の仕事現場でも非常に役に立っています。社会で働く上で大切なことをたくさん学べる学校です。



田中 愛乃

資源動物科（2016年卒業）  
大阪府立農芸高等学校  
畜産学科

## 資源動物科

### ヒトと動物と環境を調和できるクリエイターを育てる

酪農専攻／養豚専攻／ふれあい動物専攻／総合環境専攻



### 卒業生からのメッセージ

#### 観察・考察する力と生命を預かる責任を学んだ

中学生から実践的に学びたいという思いが強く、大好きな「食品」について学べ、また、将来、管理栄養士の資格修得につなげるように、農芸高校の食品加工科の実習を決めました。在学中に資格取得を目指すことを決意しました。在学中に実習を各種発表会に参加したり、やる気次第でいろいろなことにチャレンジできる自ら考えて事に取り組む力や、衛生面に気を配る態度、よりよい商品を作ろうという気持ち今は今の仕事現場でも非常に役に立っています。社会で働く上で大切なことをたくさん学べる学校です。

## School Life

### 行事予定



充実した1年間が  
あなたを成長させる



生命や自然の尊さに触れ、  
人と環境を大切にする態度や感性を育くむ。

本校は、創立100周年を迎えた歴史と伝統のある農業高校です。これまで、約13,000人以上の卒業生を輩出し、その多くが、農業はもとより、様々な分野で活躍されています。

生徒達は、約9万m<sup>2</sup>の広大な敷地での学びを通じ、生命や自然の尊さに触れ、人と環境を大切にする態度や感性を育んでいます。そして、何よりもすべての生徒が活躍できる場面が必ずある、ユニークでとても高い教育力を有する農業高校です。百年の丘、農芸祭、オープンキャンパス、ホームページなどあらゆる機会を通じて生徒たちの活躍と魅力ある教育を発信します。

学校のあゆみ

大正6年	大阪府南河内郡黒川村外6カ村学校組合立として大阪府黒川実業学校誕生	昭和62年	畜産科を資源動物科に変更 牛舎、生物工学実験室など関連施設新築
昭和4年	大阪府に移管 大阪府立黒川学校と改称	平成4年	農芸科をハイテク農芸科に変更 植物生産工場など関連施設新築
昭和15年	大阪府立農芸学校と改称	平成18年	大阪府立横山高等学校園芸科と機能統合
昭和16年	現在地に新校舎全面竣工	平成19年	定期制開講
昭和23年	大阪府立農芸高等学校と改称	平成28年	第67回日本学校農業クラブ全国大会 大阪大会の運営事務局
昭和43年	創立50周年記念事業 図書館同窓会記念館竣工	平成29年	創立100周年記念事業 正門・百年の丘等整備